

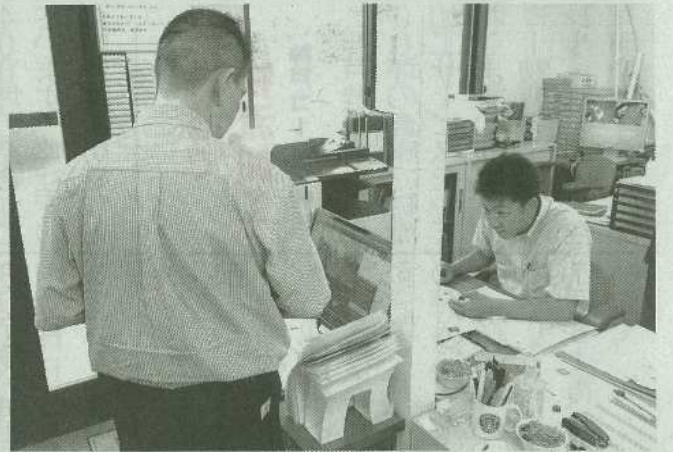
【神奈川】タマ・

ミルキーウェイ(横澤由明社長、東京都東大和市)の寒川営業所(高座郡寒川町)では、ドライブレコーダーの映像をこまめにチェックすることで、安全運行に役立てている。

同営業所では帰着点呼の際にドライバー全員の前でドライブレコーダーの映像を確認することほできないが、重要な箇所をピックアップすることで、数分間の点呼の中で確認できる体制を築いている。ドライバーは帰着時に映像を記録したSDカードを持ち参、映像は管理者

一時停止の効果「大きい」

タマ・ミルキーウェイ 映像で確認



点呼の様子

とドライバーで一度事故が発生すれば、重大な事故になりかねない。重点的に確認しているのは「走行速度」「一時停止」「走行時の車間距離」「停止時の車間距離」の4点。同社の竹野聡副社長は「トラック運送業の

場合、交通事故は追突とバック時に発生することが多い」と指摘する。

「走行速度」「走行時の車間距離」のチェックは追突事故を防ぐことが一番の目的だ。例えば、低速での走行が指定されている道路を、決められた速度で走行しているか、徐行すべき場面でしっかりと速度を落とすかを確認している。基本的なことはあるが、デジタコはあるが、デジタコは点検だけでは見えてこないところ」と同副社長。

「一時停止」確認の際は停止線でピットリと止まっているかを重要視している。人身事故の防止。トラックは乗用車が主目的だ。同社では二段階停止を徹底しており、必ずだが、十分に車間距離をとって停止すること、不意の追突事故を防ぐこともできる。

同社では一時停止や速度順守などの各チェック項目をドライバーの評価に取り入れており、賞与などに反映している。同副社長は「毎日、見られるという意識が大切となる。日々指導を続けてきたことで、ドライバーは各チェック項目をしっかりと守るようになってきた」と取り組みの成果を語る。

「一時停止」確認の際は停止線でピットリと止まっているかを重要視している。人身事故の防止。トラックは乗用車が主目的だ。同社では二段階停止を徹底しており、必ずだが、十分に車間距離をとって停止すること、不意の追突事故を防ぐこともできる。

(田川侑史)

内輪差など危険学ぶ

水戸支部交通安全教室

【茨城】茨ト協水戸支部(宮内博夫支部長)は9月20日、地元の水戸東口ター

す。礼儀正しい態度で臨みましょう」とあいさつ。宮内氏は「トラックは毎日、生活に必要な色々な品物を運んでいます。また、災害時はいち早く安



【茨城】茨ト協(小と「しんまい(初心林幹愛会長)と県高者)の語呂合わせ速道路交通安全協議と交通安全の願い会(同会長)は9月をコメて」の意味

無理せず休憩の習慣を

茨ト協など交通安全キャンペーン

同協会や支部の活動、「トラックの日」について紹介した。参加事業者は「ト全

安全運転徹底 千葉支部 交通

【千葉】千ト協千葉支部(齋藤政雄支部長)は9月22日、千葉市中央公園で開催された「秋の交通安全運動キャンペーン」に参加・協力した。当日は、齋藤支部長をはじめとした同支部の会員事業者が多数参加した。開会式では、協力を団体として、同支部長があいさつに立ち、「日々、従業員と一緒に安全運転の徹底に精進しているが、交通安全は1日前にしてはならない。今回のようなキャンペーンを通じ、繰り返し交通安全の重要性を認識することが大切と考えている」と述べ、参加の趣旨を説明。あわせて、同協会や支部の活動について紹介した。